

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月27日更新

事務事業名		自動車臨時運行許可事務事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康		所属部	市民生活部	課長名	中嶋 民智
	施策	2	行政改革の推進		所属課	市民課	担当者名	鍋島 一紗
	施策の柱	7	市民サービスの向上		所属班	戸籍住民班	(内線)	1117
予算科目	会計一般	款 2	項 3	目 1	事業連番 11096	根拠法令	道路運送車両法	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
						成果優先度評価結果		: ⑫
						コスト削減優先度評価結果		: ⑥

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	道路運送車両法に基づき、運行できない自動車(新規登録・新規検査・継続検査等)を許可証と許可番号標を貸し出すことにより、特例的に運行できるようにするものである。 平成18年2月27日合併により合志庁舎及び西合志庁舎で許可事務を行っている。
【業務の流れ】	①受付②内容審査③許可証、許可番号標の交付④手数料徴収⑤申請書、管理簿等の整理
【主な予算費目】	需用費(印刷製本費)
【意見や要望】	特に意見や要望は寄せられていない。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	自動車臨時運行許可事務を適正に行った。	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成29年度に同じ
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)件 →イ:臨時運行許可申請件数	予算の主な増減の理由 自動車臨時運行許可申請書印刷代の減
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	自動車の臨時運行許可が必要な人	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)件 →イ:臨時運行許可申請件数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	自動車の検査等により臨時に道路を運行するため、許可証と許可番号標の交付を受けることができる。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)% →イ:臨時運行許可事務を適正に処理した割合
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
自動車の検査等により臨時に道路を運行するためのものであり、許可証と許可番号標の交付を適正に行うことで、市民サービス向上につながる。		2,007

(2)各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込
①	活動指標	件	713	768	800	798	800	800	800	800
②	対象指標	件	713	768	800	798	800	800	800	800
③	成果指標	%	100	100	100	100	100	100	100	100
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	23	23	35		35	35	35
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円		6	1	27			
		(A)事業費計	千円	23	29	36	27	35	35	35
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	11	15	9	9	9	9
延べ業務時間	時間	72	572	0	442	0	0	0		
(B)人件費計	千円	267	0	0	1,748	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	290	29	36	1,775	35	35	35		

事務事業名	自動車臨時運行許可事務事業	所属部	市民生活部	所属課	市民課
-------	---------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 法定事務であり、適切に処理を行うことで目的を達成できる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・市民課職員が他の業務と兼務で対応しており、現状での取り組みが最良と考えられる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・法定事務であり、他の方法等は考えられない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・事業を行う上での必要最低限の費用であり、削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・市民課職員が他の業務と兼務で対応しているため
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・手数料条例に基づき徴収しているため適正である。・全ての市民に公平・公正な対応を行っている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 法定事務のため移行することはできない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

道路運送車両法に基づいて適切に事務を行った。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					